

特別仕様車
GRヤリス MORIZO RR
発表!



GR

magazine

全国79件の中から
注目のGR Garageを
ピックアップ!

vol. **09**

悔しさが原動力
モリゾウはまだ止まらない
GR GT / GR GT3



エディルブ初のレッド採用
大人の雰囲気漂う上質仕様

次々に新製品が投入されるBRIDE/edirbだが、ここで注目したいのは「真っ赤なedirb」だ。意外かもしれないが、これまでedirbシリーズに真っ赤なモデルは存在していなかった。

満を持して登場したedirb 171/172は、ストラディアタイプ。シート全体にスエード調の生地「ダイナミカ」を採用している。「ダイナミカ」は、通気性が良く、ソフトで滑らかな肌触りが特徴の生地になる。さらにシート全体にインテリアガードTM（ガラスコーティング）を施工し、優れた耐久性と防汚性、抗菌・抗ウイルス・防カビの機能を付与している。



edirb171

edirb172



『ダイナミカ』を採用した、格調高い
レッドカラーモデル登場

edirb 171/172

ロイヤルレッド 32万8900円

ロイヤルレッドは、とても発色が良い赤のスエード調生地となる。刺繍も赤、ステッチも赤、ここまで赤に拘ったモデルは、BRIDE/edirb史上初の試みとなっている。全体に豪華な雰囲気が漂う。

[PARTS of GR SPECIAL FEATURING]

BRIDE/edirb

ブリッド ☎052-689-2611 <https://brideseats.com/>

留まることを知らないブリッド
注目度が高い新作が続々デビュー

文●X-CAR編集部 写真●芝修、BRIDE



限定色ベージュレザーが登場
EUROSTER II CRUZ

EUROSTER II ベースで、限定色ベージュレザーを採用したのがEUROSTER II CRUZ。イベントに出展して、ベージュを好むお客様にリサーチを行い、色合いや素材について意見を聞いて、同系色のカラーで仕上げられた。水や汚れ、擦れに強いPVC表皮を使用している。ベージュ系内装車は要必見のシートなのだ。



GAIAS III REIMS

24万2000円～30万300円



STRADIA III REIMS

25万3000円

今回のプロジェクトのテーマは、ストリートからサーキットまで楽しく走れるファインチューン。フルバケットシートを入れることも考えたが、ある程度のスポーツ性能を持ったセミバケットシートの方が企画にマッチすると考えた。

そこで、運転席側にはガイアスIIIレイムス、助手席側にはストラディアIIIレイムスを導入した。レイムスとは、センター部にアクセントが入ったお洒落なシリーズである。今回導入したブラックのほかに、ブルーとレッドもラインアップしている。

ガイアスIIIとストラディアIIIは、高剛性スチールフレームとモノコックシェル、精密リクライニング機構を備えたシート。ガイアスIIIは、腿部横の高さがあり、ストラディアIIIは腿部横の高さが抑えられている。

運転席側はホールド性を重視してガイアスIII、助手席は乗降性のしやすさを重視してストラディアIIIとした。どちらも肌触りの良い高級スエード調生地が採用されていて、背面まで含めてフルカバーされている。シットクで高級感のあるシートだ。

シートレールはROタイプの選択。ROは、もとよりドア側に10mmオフセットしているレールなので、縦引きサイドブレーキ用LRレールと同じポジションに装着できる。純正シートと比較すると、しつくりくるポジションを構築できた。これでドライブはさらに楽しくなりそうだ。



KAZAMA AUTO SERVICE

GR magazine

GR YARIS メイクアップ大作戦

高級感漂うレイムスシリーズ
フルバケットシートだけが選択肢じゃない

BRIDE

ブリッド ☎052-689-2611 <https://bride-jp.com/>



STRADIA III REIMS
ブラック&ブラック

STRADIA III REIMS
ブラック&レッド

STRADIA III REIMS
ブラック&ブルー



クッションはスタンダードタイプとロータイプの2タイプから選択が可能。座面裏には6点式ハーネス用のベルトホールを設置する。操作性・利便性・耐久性に優れたリクライニング機構を備えている。



通常モデル「LF」シートレールの場合



縦引きサイドブレーキ用「LF」シートレールの場合

通常モデル「LF」シートレールで縦引きサイドブレーキ装備車に装着の場合、ハンドルセンターのシートと運転席側にオフセットするサイドブレーキとの干渉がやや大きく、前方へのスライド量に制限が出る。ただし、後方寄りの着座位置の方であれば問題ない

縦引きサイドブレーキ用「LF」シートレールで縦引きサイドブレーキ装備車に装着の場合、シートがドア側に10mmオフセットする分、運転席側にオフセットするサイドブレーキとの干渉は軽微に抑える。前方へのスライドも可能なので総合的なバランスがよい

縦引きサイドブレーキ用シートレール『LF』 前方スライドのためドア側へ10mmオフセット LFタイプシートレール

3万1900円

※適合シート（現行品）

ZETAシリーズ（ZETA VERIA Verio REIMS Classic KING）/ ZIEG
XEROシリーズ（RS PLUS CS PLUS VS）/ edirbシリーズ（OA1 OA1 NC OB1 OB1 NC）

GRヤリスで縦引きサイドブレーキを装着した場合、ブリッドのフルバケット用シートレール「LF」には、通常モデルの「LF」の他に、縦引きサイドブレーキ用「LF」が用意されている。これは運転席側にオフセットする縦引きサイドブレーキとシートの干渉を軽微に抑えるために、10mmドア側にオフセットさせた仕様になっている。ただ、逆に言えばステアリングセンターが10mmオフセットするわけで、どちらを選ぶべきか悩ましいところだ。

今回は実際に、通常モデル「LF」と、縦引きサイドブレーキ用「LF」の比較を行ってみた。確かに通常モデルの「LF」は、シートと縦引きサイドブレーキとの干渉がやや大きく、前方へのスライド量に制限が出る。ただし、後方寄りの着座位置の方であれば問題ないため、そういった方にはハンドルセンターの通常モデル「LF」を選んでもよい。

ガイアスのようなセミバケットシートの場合は、「RO」と「LR」のシートレールを選べる。「LR」はセンターが出ているが、縦引きサイドブレーキとの干渉がやや大きい。「RO」は、もともとドア側に10mmオフセットしている設計なので、比較的問題なく装着ができる。たった10mm、それと10mm。正直、筆者は10mmのセンター違いを比べても、その差を感じられなかった。どちらを選ぶかは、アナタ次第といったところだろうか。

センターが前方スライドか 実に悩ましい選択だ



※適合表

商品名	座面高	左右オフセット
T415LF	純正座面より	ドア側へ10mm
T413LF	最大約35mmダウン	±0
T413FO	純正座面より	ドア側へ10mm
T413FX	最大約30mmダウン	

BRIDE初のFIA規格8855-2021 取得モデル「HYPERII」発売開始

FIA規格8855-2021は、モータースポーツ用シートの新しい安全基準で、GT4やラリー2カテゴリ向けに設定された規格である。認証の関係で、専用サイドステーと組み合わせて装着となる。HYPERII（ハイパーツー）77万円



導電性表皮材「カブロンST_R」を搭載した エアロスタビライジングバケットシート

XERO CS PLUS

FRP製シルバージュエル（GFRP）17万500円（グラデーションロゴ）、15万9500円（ブラック・レッド）
スーパーアラミド製ブラックシェル（AFRP）22万8800円（グラデーションロゴ）、21万7800円（ブラック・レッド）

さまざまなフルバケットシートをラインアップするブリッド。「XERO CS PLUS」は、中型ヘッドガードを装備するハーフカバー仕様のフルバケットシートだ。もともと発売されていた「XERO CS」をベースにリニューアルを実施。表皮カバーのデザインや素材の変更を行っている。ハーフカバータイプとすることで、後部座席のある車両への装着もシートバックプロテクター無しで保安基準に適合。

特徴的なのは導電性表皮材「カブロンST_R」を搭載していることだ。ドライバーと、その周辺に溜まっている静電気をボディ全体に分散させて帯電

量を軽減させることができる。これにより、操縦安定性の向上だけでなく、快適なドライビングに貢献する。



レッド

ブラック

グラデーションロゴ

リアルなシート形状を 3Dプリンターで再現！

シート型スマホスタンド
4400円（グラデーションロゴ）、3850円（ブラック／レッド）

東京オートサロンでブリッドの『シート型スマホスタンド』が発表された。スポーツシートを再現した形状で、カラーは、グラデーションロゴ、ブラック、レッドの3色を用意する。ブリッドファンであれば、ぜひともゲットしたいグッズと言えるだろう



スタンダード

ロー

高触感表皮材「NUGRAIN_R」を採用した より上質なセミバケットシート

STRADIA III NUGRAIN

（スタンダードクッション／ロークッション）25万8500円（チャコールグレー）

2025年春に登場した「ERGOSTER NUGRAIN」。アキレス社が開発した高触感表皮「ヌグレ_R」を採用したモデルであった。そして、今回発表されたのは、同じ表皮を使用した「STRADIA III NUGRAIN」だ。「ヌグレ_R」は、ヌバックのような触感を再現した、本革製品に極めて近い風合いのPVC表皮である。合成皮革のために汚れにくく、メンテナンスが簡単だ。カラーはチャ

コールグレーで、表皮全体に薄っすらと雲がかかったような色合いになっている。しっとり感と、さらっとした質感を兼ね備える「ヌグレ_R」を採用する「STRADIA III NUGRAIN」では、従来モデルとは違うシックなデザインを採用。生地耐久性にも優れるため、ワンランク上の車内空間を求める方にマストな逸品だ。



複雑なデザインが採用されている「STRADIA III NUGRAIN」。本革製品に極めて近い風合いの「ヌグレ_R」に優雅さをプラスした意匠は注目ポイントだ

心地よい肌触りと
落ち着いた雰囲気で、
車内空間を上品に彩る
エクセレンスシート。

ERGOSTER

エルゴスター・ヌグレ

NUGRAIN

NUGRAIN

BRIDE

LOW
MAX

New
Model



NUGRAIN®(ヌグレ)は、
スバックのような触感を再現した高触感表皮材。
合成皮革のため汚れにくく、メンテナンスに優れています。

※NUGRAIN®(ヌグレ)は、アキレス株式会社の登録商標です。

STRADIAIII

ストラディアスリー・ヌグレ

NUGRAIN

SERIES

Comfort seat.



BRIDE SPORT & RELAXING SEAT

BRIDE CO., LTD.

ブリッド株式会社 BRIDE®は、ブリッド株式会社の登録商標です。

〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号

電話:(052)689-2611 ファクス:(052)689-2612

※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。

ブリッド&エディルプの最新情報は、こちら!

<https://brideseats.com>

